

日光医療センター通信



獨協医科大学日光医療センター

Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

2010.11 第12号



(秋深まる、外壁改修工事(第I期)が完了間近の日光医療センター)

主な内容

- 診療紹介(心臓・血管外科)……………2
- 部門紹介(健診部)……………3
- 旬を食べよう……………4
- 泌尿器科の外来診療について・
年末年始の休診のお知らせ……………4
- 国際観光医療学会学術集会が開催されました ……5
- Webサイトがリニューアルされました……………5
- 病院への手紙回答・求人情報……………6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 心臓・血管外科

心臓・血管外科 井上有方

6月1日付けで獨協日光医療センターに心臓・血管外科が開設されて早や3か月が経ちました。その間、順調に手術件数をこなし8月には当センターも**ステントグラフト実施施設認定**を受けることができました。これにより、心臓・血管外科の手術は「心臓・胸部大血管領域」の手術を本院（栃木県壬生町）で行い、当センター心臓・血管外科では腹部大動脈以下の末梢血管領域の手術を担当することになります。その中でも腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療(EVAR: Endovascular Aneurysm Repair)がメインの治療となると思われまので、EVARについてお話ししたいと思います。

【ステントグラフトの歴史】

腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療の歴史は、1986年Balkoらによって実験的治療が開始され、1991年Parodiによる腹部大動脈瘤に対する自作ステントグラフト治療が臨床応用されたのが始まりです。欧米では2000年頃から数々の企業製ステントグラフトが出現し、本邦では欧米より遅れること2006年に腹部用企業製ステントグラフトが導入されています。本邦で現在保険適応となっている腹部用ステントグラフトは①Zenith endovascular graft (COOK) ②Excluder (GORE) ③Power link (ENDOLOGIX) の3種類となっています。

【ステントグラフトとは】

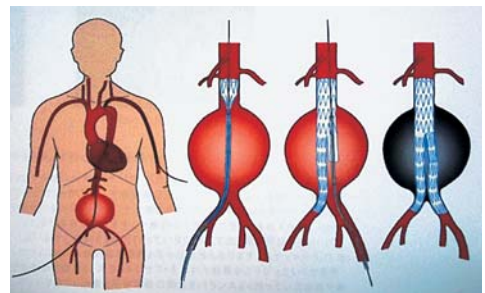
ステントグラフトとはステントと言われる金属のバネの部分グラフトと言われる人工血管で被覆したものです。これを血管内に留置することによって、瘤壁に血圧がかからなくなり、破裂を予防するというのが治療の原理です。ステントグラフトは折りたたむことができ、直径7-10mm程度のカテーテル内に収納することができます。これを大腿動脈から血管内に挿入し放射線透視をみながら動脈瘤の部分に留置します。



カテーテルに収納しているステントグラフトを徐々に開いている状態の写真

【治療の実際】

- ① 術前に3D-CTAを撮り専用の解析ソフトを使用して、血管径や有効治療長などを測定し、適切なサイズのステントグラフトを選択しておきます。
- ② 大腿動脈よりガイドワイヤーを胸部大動脈まで上げます。
- ③ ガイドワイヤーに沿ってステントグラフト(main graft)を挿入し透視を見ながら、腎動脈下腹部大動脈から総腸骨動脈にかけて留置します。
- ④ 対側脚（左側）のステントグラフトを同様な方法で対側大腿動脈から挿入しmain graftに追加して、動脈瘤に血液が流れないように(除圧)します。



以上のように、非常に低侵襲で行える治療法であり、当科でも積極的にこれを取り入れています。最近、実施した超高齢者の腹部大動脈瘤治療の一例を紹介します。

症例：90歳(大正8年4月29日生),男性

【診断】腹部大動脈瘤切迫破裂(瘤径8cm)、閉塞性肺疾患(在宅酸素導入)

【現病歴】慢性閉塞性肺疾患にて在宅酸素療法導入となっており近医でフォローされている患者。突然の腹痛を主訴に近医受診しエコー上腹部大動脈瘤を認め、上記診断となり、緊急搬送。CT上腎動脈下に径8cmの腹部大動脈瘤を認めた。降圧コントロールにて腹痛は軽減したため、待機的に手術をした。

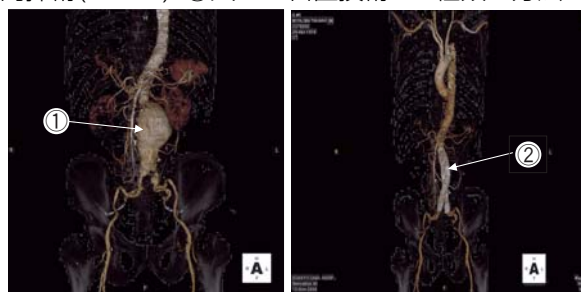
【手術】ステントグラフト内挿術(EVAR)、局所麻酔、手術時間：1時間44分

閉塞性肺疾患、在宅酸素導入されていることを考え手術は局所麻酔で行い、ステントグラフト内挿術を施行した。

【術後経過】術後1日目に経口摂取開始。術後8日で自立歩行可能となり軽快退院となった。

腹部大動脈瘤の治療に関しては現在①ステントグラフト内挿術(EVAR) ②人工血管置換術の2種類の方法があり、EVARは従来までの開腹手術に比べ圧倒的に低侵襲であり、高齢者に適した術式です。特に高齢者にとって術後回復が早いのがメリットです。当科では動脈瘤がEVARに適した形態であればEVARを第一選択としています。

術前・術後の腹部造影CTの写真です。術前CTでは、①腹部大動脈が大きく瘤状に拡大していますが、術後CT検査では、腹部大動脈瘤のある場所に②ステントグラフトが内挿されており、血液(造影剤)は、ステントグラフト内を流れるため、動脈瘤が描出されないのがわかります。



術前CT

術後CT

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 健診部

● 業務内容

健診部の主な業務は、1泊2日人間ドック、企業健診、一般健診等を皆様の多様なニーズに対応し、質の高いサービスを提供することです。

● 健診部フロアのご案内

健診部は、2号館M3階に位置し、一般診療部門とは別のフロアに、受付・診察室・検査室・待合室・更衣室等があります。待合室では眼下に鬼怒川が流れ、リラックスして健診をお受けいただけます。

● スタッフ

健診部は、中元病院長(健診部長)及び健診のエキスパートとして松本特任教授が担当しています。その他にも各診療科の専門医師や看護師・臨床検査技師・診療放射線技師等及び事務員が担当しています。



● 特徴

当センター健診部の目玉は、《1泊2日人間ドック》です。受健者の方には、鬼怒川温泉のホテルにご宿泊いただき、あたたかい温泉とおいしいお食事もお楽しみいただき、健康管理と心身のリフレッシュが同時に出来るプランとなっております。

また、ご宿泊いただくホテルは、当センター契約ホテルからご希望に合ったホテルをお選びいただけます。このようなプランは全国的にも非常にめずらしく、県内の方はもとより、県外さらには外国の方にもご利用いただき、好評いただいています。

● 《1泊2日人間ドック》検査項目・料金

当センターの1泊2日人間ドックでは、主に下記の検査を行います。

身体測定・問診・診察・血液検査・眼科検査・聴力検査・尿検査・便検査
経鼻内視鏡検査・超音波検査・心電図検査・X線検査・呼吸機能検査等

また、脳MRI・腫瘍マーカーなどの各種オプション検査もご用意しています。

料金については、ご宿泊頂くホテルにより異なり61,000円～80,000円となっております。

健診部では、少しでも心と身体の健康づくりにご協力できればと考えています。

企業・各組合との契約により、生活習慣病予防健診・1日ドック等もお受けしていますので是非ご利用ください。また、人間ドック・健康診断等についてわからないこと等ございましたらお気軽に健診部までご相談ください。

【お問合せ・ご予約受付先】 0288-76-0630 (健診部担当直通)

※健診部につきましては、当センターホームページにも掲載されています。

URL: <http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/info/108/281.html>

旬を食べよう

たら 鍋の定番ともいえるたらは、産卵期の冬が旬になります。たらは漢字で「鱈」と書きますが、これは身が雪のように白いこと、腹側が真っ白であること、初雪のころから獲れはじめることなどの諸説があります。

たらは、魚の中でも特に大食漢として知られています。

お腹いっぱい食べることを「鱈腹(たらふく)食べる」と言いますが、何でもお腹いっぱい食べてしまうほど、たらが大食いであることに由来すると言われています。

《栄養》

たらは低脂肪、低カロリー、高たんぱく質の代表的な白身魚です。消化に良いため、病院でも献立に取り入れています。

ビタミンA・Dをはじめ、さまざまな栄養素がまんべんなく含まれています。ビタミンAには、免疫力を高め、細菌やウィルスからからだを守るはたらきがあります。また、ビタミンDには、カルシウムやリンの働きを助けて骨を丈夫にし、骨粗しょう症、虫歯などを防いでくれるはたらきがあります。

《選び方と保存方法》

- 切り身の場合、透明感があり、みずみずしく、身にはりのあるものを選びましょう。
- 水分が多く鮮度が落ちやすいため、保存するときは一切れずつラップで包み、冷凍庫に入ると安心です。

《美味しい食べ方》

味わいが淡白なたらは、さまざまな料理に使われます。

- 豆腐や野菜と一緒に煮て「ちり鍋」にします。ポン酢醤油でさっぱりいただきます。
- ホワイトソースを使って、「グラタン」や「シチュー」にします。そのほか、「煮付け」、「照り焼き」、「フライ」、「ムニエル」など、さまざまな調理方法があります。



「たらの切り身」



「揚げたらのおろし煮」

(管理栄養士：川村千恵美)

お知らせ（10月1日から泌尿器科の診療日が増えました）

平成22年10月から、泌尿器科が、月曜日と金曜日にも診療を行うこととなりました。

泌尿器科外来担当表

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
担当医	本田教授		阿部講師		本田教授	本田教授

受付時間：月曜日～土曜日（8:50～11:00）

診療時間：月曜日～金曜日（9:00～12:00／13:00～16:30） 土曜日（9:00～12:30）

受付電話：0288-76-0620（直通）

年末年始の休診のお知らせ

～12月28日（火）通常どおり診療
 12月29日（水）～1月3日（月）
 は年末年始休診
 1月 4日（火）～通常どおり診療

●休診日については、時間外外来の診療を行っています。

●診療を希望される方は0288-76-1515（代表）へお電話ください。

※入院患者の付き添い・ご面会については通常どおりです。

第1回国際観光医療学会学術集会在開催されました



日光医療センター病院長 中元 隆明
(第1回国際観光医療学会学術集会会長)

去る10月9日(土)、「第1回国際観光医療学会学術集会」が、医療機関や行政、また観光業界の関係者あわせて262人が出席し、日光東照宮客殿(栃木県日光市)において盛大に開催されました。

本学会は、政府の新成長戦略である観光と医療を結びつけることによる外国人観光客の誘致に期待が集まっている中、各医療機関個別の取り組みが先行していることから、事例発表による問題点の洗い出しや、全国的なガイドラインの策定に関する情報交換を進める目的で、本年5月に寺野彰獨協学園理事長・本学学長(学会理事長)が中心となり設立された世界初の学会であり、監事には、日光東照宮・稲葉久雄宮司も就任しております。

学術集会では、国土交通省・観光庁国際観光政策課長の柏木隆久氏により「医療観光に関する取り組み」というテーマで、国の観光医療の現状やその振興の取り組みについて、次に、中国の上海同済大学附属同済医院長の王樂民氏により「中国におけるヘルスケアサービスの現状」というテーマで、上海における医療の現状などについて特別講演が行われました。講演後は、演者と出席者の間で、活発な意見交換が行われました。

また、学術集会終了後に開催された懇親会では、東照宮楽師による雅楽を鑑賞するなど、出席者が親交を深めました。

当日の様子は、この方面の関心の高さを反映して多数のプレスも集まり、NHKテレビ、とちぎテレビなどは、早速当日の夕刻にテレビニュースの放映があり、さらに、翌朝には、各社の新聞紙面で取り上げられ、全国にニュースが流れました。また、海外においてはNHK BSニュースにより世界に向けて放映され、さらに、新華僑通信からのウェブサイトから、中国の主要メディアウェブサイト28ヶ所以上に配信され、中国では大きな反響となっています。



Webサイトリニューアルのお知らせ

本学では、Webサイトをより利便性の高いものとするため、リニューアルを行いました。

今後とも、コンテンツの充実に努め、見やすく、必要な情報を探しやすいページ作りを心がけていきますので、これまで以上に活用いただきますよう、ご案内いたします。(管理課)

日光医療センターTOPページ

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/>



病院への手紙にお答えいたします

～当センターの各所に設置してあります、ご意見箱に寄せられた
患者様からのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

ご意見・ご要望

●外来の待ち時間について

<63歳 女性>

予約時間の意味がないほど待たされる。

A お答えいたします

大変ご迷惑をお掛けいたしております。

担当医ごとに患者さまの診療にかかる時間を考慮し、時間枠を設けて予約数を決めておりますが、当日の患者さまの診療内容、緊急な診療を要する患者さまへの対応が必要となった場合、予約されていた時間から大幅に遅れてしまう場合がございます。

なお、引き続き予約枠数の見直しを行い、患者様の待ち時間が少しでも短縮できるよう、患者さまへのサービス向上に努力してまいります。

ご意見・ご要望

●面会について

<47歳女性>

決められた時間以外に面会に来る人が
いてうるさい。

A お答えいたします

周りの方に配慮の欠けた面会の方の行動に対し、気がつかず申し
訳ございませんでした。

面会時間につきましては、病気で入院されている方々の治療時間
や安静のため、下記のとおり時間を設定させていただいております。

原則面会時間以外はお断りしておりますが、事情によりどうしても、
患者様と面会されたい場合は病室への直接訪問をご遠慮いただくと
ともにデイルームでの面会にご協力いただきますようお願いして
まいります。

なお、ご面会にお越しの方は、趣旨をご理解いただきご協力くだ
さいますようお願いいたします。

(面会時間)

平 日：午後2時～7時まで

土・日曜日・祝日・休診日：午後1時～7時まで

当センターで 一緒に働いてみませんか？

平成23年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで

TEL 0288-76-1515

(内線270) 看護部

※平成22年度採用についても

随時対応いたします。

編集後記

歴史に残るような長く暑い夏が終わり、高い空に澄み切った空気が心地良い
季節となりました。猛暑の影響で一層美しくなるだろうと言われていた紅葉は
如何でしょうか？さて、そんな時期に大切になってくるのが、早めの冷え対策
です。この秋冬のファッションのトレンドは、スノー柄・フワフワ・もこもこ、そ
して手軽なストール。さり気なく羽織るストールは、いつものスタイルにプ
ラスすることで少しでも新鮮な気分になり、そして存外に身体を温めてくれること
と思います。当センターは医療技術・サービスにおいて、そんなストールのよう
な新しさや暖かさをもってますます進化して参ります。皆様の身近にございま
す当センターを上手に利用しつつ、身体も心も元気にお過ごし下さい。(M.F)

日光医療センター通信 第12号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日/平成22年11月1日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷/株式会社松井ピ・テ・オ・印刷

携帯サイトはこちら

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/i/>

または、右記のQRコードを読み取り

アクセスして下さい。

